

VMware ESXi 上の Cisco Catalyst Center 2.3.7 仮想アプリケーション

目次

はじめに	3
Catalyst Center の機能	3
Catalyst Center 仮想アプライアンス	4
仮想アプライアンスのスケール	4
VMware ESXi 上の仮想アプライアンスの要件	6
製品使用状況テレメトリ	6
詳細情報	7

はじめに

Cisco® Catalyst Center (旧 Cisco DNA Center™) は、ネットワークの管理、シスコへの投資の最適化、IT 支出の削減などを実現する強力なネットワークコントローラであり、管理ダッシュボードでもあります。Catalyst® Center は、ネットワークの実行を簡素化するために、すべての基本的な管理タスクに対して単一のダッシュボードを提供します。このプラットフォームにより、IT 部門は変化や課題に迅速かつよりインテリジェントに対応できます。

Catalyst Center の機能

- **設計**：直感的なワークフローを使用し、ネットワークデバイスの展開場所からネットワークの設計を開始します。
- **ポリシー**：ビジネスニーズに基づいて高度にセキュアなアクセスとネットワークのセグメント化を促進する、ユーザーとデバイスのプロファイルを定義します。アプリケーションポリシーを使用すると、ビジネスクリティカルなアプリケーションは、ネットワークの輻輳に関係なく、一貫したパフォーマンスを提供できます。
- **プロビジョニング**：ポリシーベースの自動化を使用して、ビジネスの優先順位に基づいてネットワークにサービスを配信し、デバイスの導入を簡素化します。ゼロタッチ デバイス プロビジョニングおよびソフトウェアイメージ管理機能により、デバイスのインストールまたはアップグレード時間が数時間から数分に短縮され、市販のシスコ製デバイスのプラグアンドプレイ機能を使用して、新しいリモートオフィスを容易にオンライン化できます。さらに、Cisco Secure Network Analytics (旧 Cisco Stealthwatch®) サービスは、NetFlow および暗号化トラフィック分析 (ETA) を分析サービスに送信するため、ネットワーク要素をプロビジョニングします。
- **アシュアランス**：ネットワーク上のすべてのポイントをセンサーに変え、アプリケーション パフォーマンスやユーザー接続に関する継続的なストリーミングテレメトリをリアルタイムで送信できます。これにより、自動的なパストレースの可視性とガイド付きの修復が連動し、ネットワークの問題が表面化する前に数分で解決されます。Cisco Secure Network Analytics の自動 NetFlow スイッチ設定は、暗号化されたトラフィックに隠されている場合でも、脅威の検出と軽減を提供します。
- **プラットフォーム**：オープンで拡張可能なプラットフォームにより、サードパーティのアプリケーションとプロセスは、Catalyst Center とデータやインテリジェンスを交換できます。これにより、Catalyst Center のネットワーク インテリジェンスに基づいてワークフロープロセスを自動化することで、IT 運用が向上します。

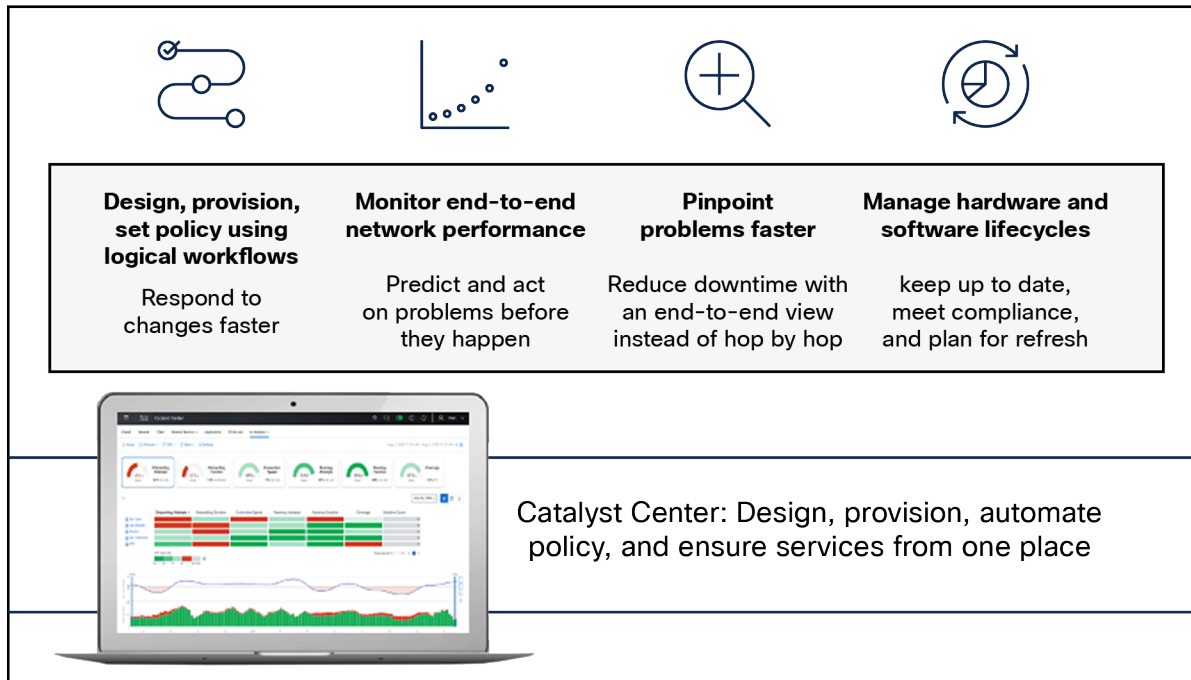


図 1.
Catalyst Center

Catalyst Center は、このすべての機能を統合コントローラに組み込み、一括管理によって提示する、集中型のネットワーク管理システムです。

Catalyst Center 仮想アプライアンス

Cisco Catalyst Center は、Amazon Web Services (AWS) を使用してクラウドに、または VMware ESXi を使用してオンプレミスに、仮想アプライアンスとして導入できます。仮想化により、お客様は運用の柔軟性を高め、価値実現までの時間を短縮できます。仮想アプライアンスは、ファブリック展開と非ファブリック展開をサポートしています。

ESXi 上の仮想アプライアンスを使用すると、お客様はハードウェアのライフサイクルを簡素化しながら、CapEx を削減できます。展開では、ESXi の高可用性機能を活用できます。

仮想アプライアンスのスケール

表 1. スケールおよびハードウェア仕様

SKU	DN-SW-APL
説明	Catalyst Center 仮想アプライアンス
デバイス ¹ (スイッチ、ルータ、ワイヤレスコントローラ) (非ファブリック)	1000
デバイス ¹ (スイッチ、ルータ、ワイヤレスコントローラ) (ファブリック)	2000
ワイヤレスアクセスポイント (非ファブリック)	4000

SKU	DN-SW-APL
ワイヤレスアクセスポイント (ファブリック)	3000
ワイヤレスセンサー	600
同時エンドポイント	25,000
一時エンドポイント (14 日間以上)	75,000
エンドポイントの比率：有線、無線	いずれか いずれか
サイト要素	2500
ワイヤレスコントローラ	500
ポート ²	48,000
API レート制限	50 API/分
NetFlow (フロー数/秒)	30,000
ソフトウェアイメージの同時更新	100
Catalyst Center SD-Access のスケール	
デバイス ¹ (スイッチ、ルータ、ワイヤレスコントローラ)	2000
ワイヤレス アクセス ポイント	3000
ファブリック ドメイン数	10
ファブリックサイト	500
レイヤ 3 仮想ネットワーク	64/サイト
ファブリックデバイス	500/サイト
拡張可能グループ数	4000
アクセス契約数	500
グループベースのポリシー	25,000
IP プール ^{3, 4, 5}	100 ⁶
レイヤ 2 仮想ネットワーク ^{3, 4, 5}	100 ⁶

注：

- ¹ スイッチスタック、StackWise Virtual ペア、仮想スイッチングシステム (VSS) ペア、およびワイヤレス LAN コントローラ高可用性シングルサインオン (WLC HA SSO) ペアは、それぞれ 1 つのデバイスとしてカウントされます。
- ² コンソールポートを除くすべての物理ポートが含まれます。WLC の冗長ポート (RP) が含まれます。
- ³ SD-Access の展開にファブリックサイトを追加しても、Catalyst Center システムの拡張性パラメータは増加しません。たとえば、10 のファブリックサイトにまたがる 1000 の同時エンドポイントと、単一のファブリックサイト内にある 1000 の同時エンドポイントは、どちらもシステムの規模に等しく活用できます。
- ⁴ Catalyst Center は、管理対象デバイスで最大 150 万の個別のインターフェイスをサポートします。インターフェイスには、スイッチ仮想インターフェイス (SVI)、ループバック、トンネル、Locator ID Separation Protocol (LISP) などの物理インターフェイスと仮想インターフェイスが含まれます。
- ⁵ レイヤ 2 仮想ネットワークは、ファブリックサイトにエニーキャストゲートウェイがない SD-Access のレイヤ 2 セグメントです。レイヤ 2 仮想ネットワークでは、IP プールを使用しません。
- ⁶ IP プールとレイヤ 2 仮想ネットワークの合計が、ファブリックサイトあたり 200 を超えることはできません。
- ⁷ IP プールとレイヤ 2 仮想ネットワークの合計が、ファブリックサイトあたり 600 を超えることはできません。
- ⁸ IP プールとレイヤ 2 仮想ネットワークの合計が、ファブリックサイトあたり 1000 を超えることはできません。

VMware ESXi 上の仮想アプライアンスの要件

システム要件については、表 2 を参照してください。

表 2. 仮想アプライアンスの最小要件

仕様	要件
プロセッサ	64 GHz が予約された 32 の vCPU を VM 専用にする必要があります。
メモリ	256 GB が予約された 256 GB の Dynamic Random Access Memory (DRAM) を VM 専用にする必要があります。
ストレージ	3 TB
ESXi	VMware vSphere (ESXi および vCenter Server を含む) 7.0.x 以降とすべてのパッチ
I/O 帯域幅	180 MB/sec
IOPS (1 秒当たりの入出力処理)	2000 ~ 2500
Network Interface Card (NIC)	ネットワークポートあたり 1 Gbps ネットワーク

製品使用状況テレメトリ

製品使用状況テレメトリは、Cisco Catalyst Center のステータスと機能に関する貴重な情報を提供します。Catalyst Center は、製品使用状況のデータを自動的にシスコに接続して送信するように設定されています。このデータを収集することで、製品チームは顧客により優れたサービスを提供できるようになります。このデータと関連する分析情報により、シスコは潜在的な問題をプロアクティブに特定し、サービスとサポートを改善し、ディスカッションを促

進んで新規および既存の機能からより多くの価値を収集し、IT チームによるライセンス権限のインベントリレポートと今後の更新を支援します。

Catalyst Center のプライバシーについては、『[Cisco Catalyst Center Privacy Data Sheet](#)』を参照してください。

詳細情報

Catalyst Center が、迅速な対応、コスト削減、リスクの軽減にどのように役立つかを

<https://cisco.com/go/catalystcenter> でご確認ください。

米国本社
カリフォルニア州サンノゼ

アジア太平洋本社
シンガポール

ヨーロッパ本社
アムステルダム (オランダ)

シスコは世界各国に約 400 のオフィスを開設しています。オフィスの住所、電話番号、FAX 番号は当社の Web サイト (www.cisco.com/jp/go/offices) をご覧ください。

Cisco および Cisco ロゴは、Cisco Systems, Inc. またはその関連会社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。シスコの商標の一覧については、www.cisco.com/jp/go/trademarks をご覧ください。記載されているサードパーティの商標は、それぞれの所有者に帰属します。「パートナー」または「partner」という言葉が使用されていても、シスコと他社の間にパートナーシップ関係が存在することを意味するものではありません。(1110R)